

【目次】

1. 旧同盟関係者、慶応義塾大学産業研究所から資料の寄贈を受ける！
2. 友愛労働歴史館・研修室の会議室利用！
3. 連載「日本労働会館物語」第58回（—全文協会長の磯村英一・野呂信次郎・江上照彦—）！

1. 旧同盟関係者、慶応義塾大学産業研究所から資料の寄贈を受ける！

友愛労働歴史館は1月14日、旧同盟関係者より同盟関連写真や書籍の寄贈を受けました。主な受け取り資料は旧同盟の教育活動に関連する写真でした。寄贈された写真はスキャナーで読み



取り、デジタル化し、保存しました。右写真は1986年に開催された同盟中央労働学校の記念写真で、同労働学校は労働組合専従者を対象とした5泊6日の研修会。参加者は民主的労働運動の歴史と理論、労働組合の組織化などについて理論と実践的手法を学びました（前列中央は宇佐美忠信同盟会長）。

また、友愛労働歴史館は慶応義塾大学産業研究所より「藤林文庫」（藤林敬三氏。元慶応義塾大学教授、元中労委委員長）の二度目の資料寄贈を受ける予定です。これは社会運動や労働運動の書籍・各種資料のリユースを斡旋する社会・労働関係資料センター連絡協議会の紹介によるもので、昨年末に一度目の資料寄贈を受けていました。主な受け取り資料は、「藤林文庫」の協調会（戦前）や中央労働学園（戦後）に関する書籍です。

2. 友愛労働歴史館・研修室の会議室利用！



友愛労働歴史館は現在、展示室横に研修室（会議形式24名。学校形式32名）を設け、企画展や常設展を見学される人たちの利用に供しています。また、この研修室を活用し、パワーポイントによる企画展や常設展の案内・解説を行っているところです。

なお、研修室は会議室（有料）としても利用いただいています。利用は原則、平日の9:00～17:00ですが、事前に相談があれば時間外、土日・祝日の利用も可能です。1月は6団体、延べ7回のご利用をいただきました。利用料金は1時間4000円ですが、労働組合や友誼団体の場合、3時間以上は1時間に付き2000円となります（従って3時間ご利用の場合、10000円）。また、備え付けのプロジェクターや大型モニター、有線マイクやワイヤレスマイク、ホワイトボード、パソコンなどを無料で利用することができます。

<友愛労働歴史館・研修室の会議室利用>

1. 利用日・時間 平日 09:00～17:00（時間外・土日・休祝日の利用は要相談）
2. 申し込み方法 原則Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org
3. 研修室の定員 会議形式で24名、学校形式で32名
4. 備品、その他 プロジェクター、大型モニター、有線マイク、ワイヤレスマイク、パソコン他

3. 連載「日本労働会館物語」第58回（—全文協会長の磯村英一・野呂信次郎・江上照彦—）

今回の「日本労働会館物語」は全文協（全国文化運動協会。全労会議・同盟の文化運動、レクリエーション活動を担った団体）の会長を務めた5名の内、学者出身の3名について紹介いたします。

全文協初代会長は総同盟・全織同盟で活躍し、参議院議員などを歴任した上條愛一（1894～1969）。その後、学者出身の会長が続き、第2代会長は都市社会学者で東洋大学学長などの磯村英一氏（1903～1997）、第3代会長は音楽評論家・武蔵野音楽大学教授の野呂信次郎氏（1909～1987）、そして第4代会長は経済学者・評論家・相模女子大教授の江上照彦氏（1910～1990）でした。最後の全文協会長は、同盟副書記長・友愛会議事務局長などを歴任した山口義男（同盟本部、日産労連）が務めました。



磯村英一氏（1903. 01. 10～1997. 04. 05）は東京出身で、クリスチャン、都市社会学者。母はNHKドラマ『はね駒』のモデルとなった新聞記者の磯村春子。東京帝国大学卒業後、公務員、渋谷区長などを歴任。その後、学究生活に入り、東洋大学学長など。著作は『都市社会学』など多数。1970年に全文協会長に就任し、1976年まで会長。副会長は野呂信次郎、阿部静枝（歌人。戦前・戦後の社会運動家）・石井ハマ（民社党の婦人運動家。1973年から）の各氏で、事務局長は坂場実（同盟本部）でした。また、磯村英一氏は核禁会議（現KAKKIN）の議長を務め、核兵器廃絶運動に取り組みました。



第3代会長を務めた野呂信次郎氏（1909. 07. 28～1987. 10. 19）は、静岡県生まれ。1937年に青山学院神学部を卒業し、武蔵野音楽大学教授など。妻は東京芸大教授、ピアニストの野呂愛子。『名曲物語』『ベートーベン』など多くの著作があります。1976年に全文協会長に就任し、1982年まで務めています。副会長を上西正雄（同盟副書記長）、越智俊之（大阪全文協）、石井ハマ（1980年から民社党・畑昭三氏）の各氏が務め、事務局長は江口信一（同盟本部）が務めました。



第4代会長の江上照彦氏（1910. 04. 25～1990. 09. 04）は、福岡県出身。東京帝国大学卒で河合栄治郎門下。社会思想社などを経て相模女子大講師（後に教授）となり、上智大や明大でも英米演劇の講座を担当。『河合栄治郎伝』『西尾末広伝』など多くの著作があります。1982年から1992年まで全文協会長。副会長は上西正雄、越智俊之、畑昭三、山口義男が務め、江口信一（～1986年）・今井政義（1986年～。同盟本部・電力総連）が事務局長を務め、全文協活動を支えました。

1987年の連合（日本労働組合総連合会）結成に伴い同盟が解散すると、全文協を支える活動は友愛会議（後に友愛会）に引き継がれ、全文協第5代会長に山口義男（友愛会議事務局長）が就任。副会長は越智俊之、事務局長は今井政義（1994年から間宮悠紀雄・友愛会議）となりました。1996年12月18日、全文協は41年の歴史に幕を閉じ、その活動はユウアイネットに引き継がれました。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール yuairodokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodokishikan.com>

惟一館から121年、友愛会から103年